

見過ごしていた高血糖や低血糖が詳しくわかる?!

持続血糖測定 – CGM – について

従来から用いられてきた血糖自己測定 (SMBG) では、血糖値の変動が測定時点でしかわからないという欠点がありました。**持続血糖測定 (CGM)** は、皮下組織に専用のセンサを装着し、連続的にグルコース濃度の推移をみることが出来る測定法で、最大5日間装着でき測定回数は1日最大288回と血糖自己測定に比べ格段に多く、血糖値の日内変動を詳細に把握することができます。

今回の研修会では、**持続血糖測定装置を使った検査方法や検査結果の見方、治療方針への活用方法などを実際の症例を提示して当院スタッフが解説します。**

また、採血せずに血糖値がその場でわかる**新発売の FGM (Flash Glucose Monitoring)** についてもご紹介いたします。

2017年 8月24日 (木) 19時～20時

会場：岩手県立中央病院 4階大ホール

参加費無料／事前申込不要／当日は直接会場にお越しください

講師

医師

総合診療科医長 橋本 洋

持続血糖測定結果の見方や診療への活かし方を症例を用いて解説します。

看護

日本糖尿病療養指導士 高橋 雅代

持続血糖測定検査の準備と結果に基づいた生活指導について解説します。

検査

いわて糖尿病療養指導士 向井 千純

持続血糖測定装置を使った検査方法を解説します。

お問い合わせ

岩手県立中央病院 総合診療科外来

☎019-653-1151(内線 2157)

○糖尿病診療に携わる方、又は興味のある方など職種を問わず参加いただけます。

○岩手県医師会生涯教育講座1単位の認定申請を行っております。

○当院駐車場をご利用の方には無料駐車券をお渡しいたします。